

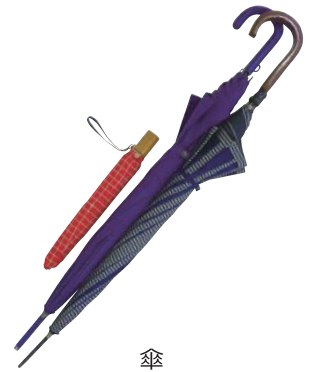
燃えないごみ



陶磁器・ガラス製品



金物類



傘

有料袋(指定収集袋)に入らないもの、一辺の長さがおおむね50cm以上のものは粗大ごみです。(一部例外あり)
 ※陶磁器、ガラス製品等で割れたものは、危険・有害ごみとなります(P24参照)

基本の出し方

有料袋(指定収集袋)に入れる。



袋からはみ出さないようしっかり結ぶ。



完成。



有料袋(指定収集袋)以外で出されたごみは、収集しません。

珪藻土製品を出す時は透明・半透明の袋に入れ、さらに有料袋(指定収集袋)に入れて出す。飛散しないようテープで封をし、「ケイソウ土」と表記する。

40ℓの袋に入らない場合(1辺の長さがおおむね50cm未満のもの)

40ℓ相当分の有料袋(指定収集袋)を貼りつけて出す。
 (合計40ℓになれば、どのサイズの有料袋(指定収集袋)をご利用いただいてもかまいません。)

方法① 40ℓ袋を貼る。

方法② 20ℓ袋を2枚貼る。



ファンヒーターや電子レンジ、など

注意!

40ℓ相当の有料袋を貼らずに出した場合、回収しません。



▶ 規定の容量(40ℓ相当分の袋)を貼りつけてください。

※危険・有害ごみ、使用済み食用油と同じ日です。



小型家電

ペンキや化粧品などのカン・ビン
(飲食用以外のカン・ビン。中身は使い切ってから出してください。)

ビンの王冠や
金属製のふた、
金属製ボトルの
スクリューキャップ

※詳しくはP35からの「50音順索引」をご確認ください。

一辺の長さがおおむね50cm以上でも、燃えないごみに出せる品目の出し方

- 金属製の棒状のもの
傘、空気入れ、スキーストック、金属製の掃除用具(ほうき・ちりとり・モップ・熊手)、バット、杖、ラケット、長さ1m以下で直径・幅3cm以下の棒など
- ・棒状のものは、有料袋(指定収集袋)を巻ききるか、結んで出す。
- ・複数品目を同時に排出する場合、まとめて有料袋(指定収集袋)を巻きつけてもかまいません。
(燃やすごみと燃えないごみは、別々に出してください。)



結びつける。



巻きつけて、テープで留める。

※結んだり、巻きつけた袋にはものを入れないでください。

- せともの(食器)、フライパンなど
有料袋(指定収集袋)に入れて出す。(基本の出し方)
※40ℓ袋に入らない場合は40ℓ相当の袋を貼りつけて出す。

- 三輪車(金属製)
40ℓの有料袋(指定収集袋)に入るところまで入れ、有料袋(指定収集袋)が取れないようテープなどで留める。



- ゴルフクラブ(3本まで)
有料袋(指定収集袋)を巻きつけるか、結びつけて出す。
(4本以上は粗大ごみ)



注意! 次のような場合は収集しません。

- ・袋からはみ出している。



有料袋(指定収集袋)に入れて口を結んでください。

- ・袋が完全に巻ききれていない。



巻ききれぬ大きさの有料袋(指定収集袋)を使ってください。

- ・収集日の違う品目を同時に出す。



(例)木製ホウキと傘

分別して出してください。